

平成22年度予算の概要

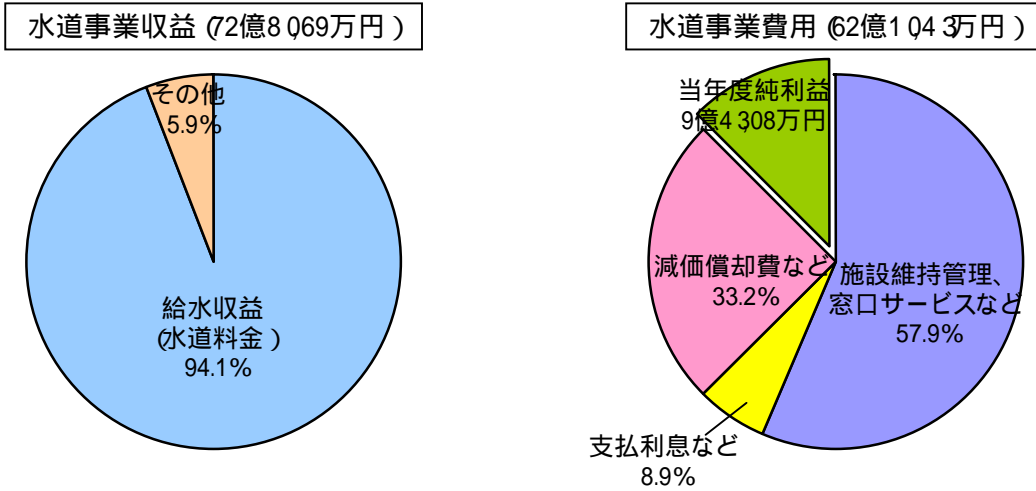
平成22年度の水道事業会計の予算規模は108億 3892万円で、前年度比90.2%となっております。

安全で安心な水の安定供給のために、配水池の新設・増設事業、老朽施設更新事業のほか、六供浄水場の配水場化に向けた導水路布設事業や病院などの重要施設への管路の耐震化工事を実施します。

また、男川浄水場の大規模更新事業では多額の資金が必要となることから、水道事業経営委員会を活用し財源確保やコスト削減策などを検討し、水道サービスの安定的・継続的な事業運営を図ります。

収益的収支の状況

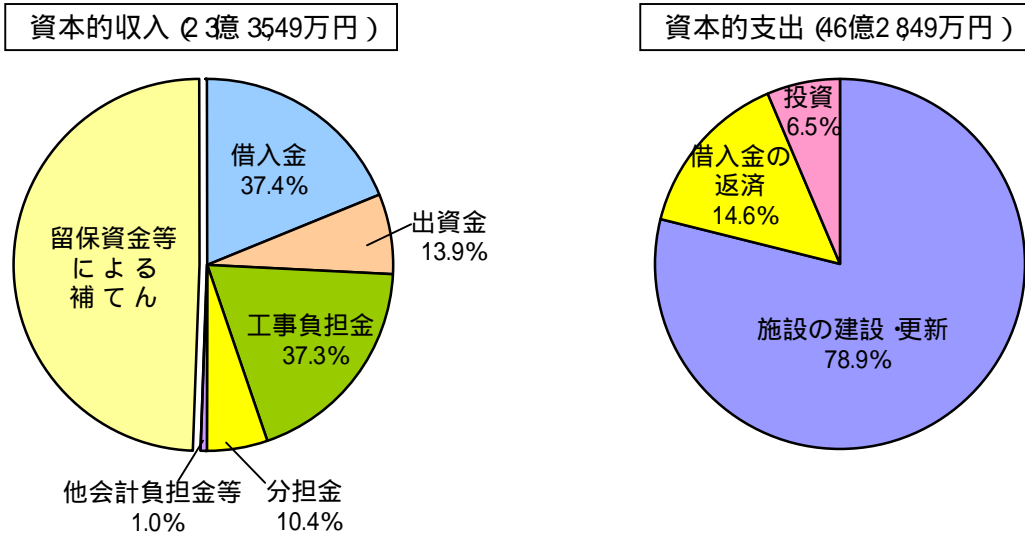
水道事業会計のうち、施設の運転・管理等、水道事業を運営するための経費とその財源の状況です。



資本的収支の状況

水道事業会計のうち、水道施設を建設・整備するための経費とその財源の状況です。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、施設の更新の資金とするために企業活動により蓄えられた現金・預金等 (留保資金といいます) により補てんします。



平成22年度の主な事業計画

原水及び浄水施設整備事業

仁木浄水場管理計装設備更新工事、竜泉寺ポンプ場電気設備更新工事

配水・給水施設整備事業

水道管路耐震化工事、配水管布設・布設替工事

水道拡張事業

大西配水場配水池増設工事、東部地区配水池築造工事、六供浄水場配水場化に向けた導水管布設
男川浄水場更新基本設計

その他

水道サービスの安定的・継続的な事業運営を検討する経営委員会の継続